

医療法人社団 順孝会 **あだち眼科**
 理事長 足立 和孝
 加須市南大桑1620-1 駐車場完備
<http://adachi-eye-clinic.com>
 相談専用フリーダイヤルはこちらから↓
 (受付時間:平日13:00~19:00)

☎ 0120-55-3385

あなたの街の
コラムご紹介頂く
医療機関様
募集中!!



・・・ お問い合わせは 株式会社 宣通 ☎052(979)1602 ・・・

Q うつ病の診断で会社を休職していましたが、だいぶよくなりましたのでそろそろ復帰する予定です。お薬はいつまで服用しなければいけないですか？

A うつ症状が改善して復帰の見込みがたれたのは喜ばしいことです。ぜひ再発を防ぎながら安定的な復職を果たしたいですね。さて標準的なうつ病の薬物療法の観点からは、初発エピソードに

関しては寛解してから少なくとも半年程度は完全寛解に達した時と同じ用量で維持するべきと言われており、これは再発に関する様々なエビデンスを元に行われた世界標準です。もし2回目以降のエピソードや希死念慮を伴う重症エピソードなど

の場合には、2年あるいはそれ以上の維持療法が必要と言われています。そう聞かれるとみなさんの中には「どうしてそんなに長い期間服用しなければいけないのか」と疑問に思われる方もいらっしゃるでしょう。それにはうつ病が高血圧や糖尿病のような慢性疾患であることや、抗うつ剤が人の体の中で何段階もの作用機序を介してゆっくり効果を発揮すると、環境調整や生活行

企画・制作/(株)宣通 広告
 TEL.(052)979-1602



動習慣を改善するのに時間がかかること、等が関係しています。早く薬をやめたい、とつい気持ちがせいでしまうこともあるかと思いますが、うつ病の治療の究極の目標は「心身ともに元気な状態を保ち自分らしく楽しい人生にすること」であることを思い出して、減薬については主治医と相談しながら計画的に行っていきましょう。



南浦和駅前町田クリニック院長 町田 なな子
 南浦和駅前町田クリニック院長。医学博士、精神保健指定医、日本精神神経学会専門医・指導医、日本精神神経学会認知症診療医、日本医師会認定産業医、日本臨床精神経薬理学会、日本うつ病リワーク協会、日本ADHD学会、日本スポーツ精神医学会。